

もう一度

セーフコミュニティを

考えてみる。



セーフコミュニティとは？

認証取得から1年

セーフコミュニティとは、WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協議センターが推進する、安心・安全なまちづくりの国際認証制度です。

セーフコミュニティでは、私たちの安心・安全な暮らしをおびやかす大きな要因である「けがや事故」に着目し、「けがや事故は偶然の結果ではなく、原因を分析し、対策することで予防できる」という理念のもと活動を行います。

市では、これまでの地域活動や事業を生かしながら、予防に重点を置き、科学的な分析と地域住民、関係機関、行政など分野を越えた連携・協働により、「みんなで作る安心・安全なまちづくり」に取り組んでおり、平成25年11月16日に大阪で初めてのセーフコミュニティの国際認証を取得しました。今後もより効果的で継続的な活動を続けていきます。

皆さんも、自分のため、そして周りの大切な人たちのために、もう一度セーフコミュニティについて考えてみませんか。

市民協働課（☎337・3103）

9月21日に、交通安全全市民大会＆セーフコミュニティ活動報告会を実施しました。

第1部の交通安全全市民大会では、一般優良自動車運転者表彰など、交通安全に対し顕著な功績のある人に対する表彰を行いました。

第2部のセーフコミュニティ活動報告会では、セーフコミュニティに取り組み6つの対策委員会が、1年間の成果を発表しました。左ページが6つの委員会と、その取り組みです。



交通安全対策委員会

幼稚園や保育所、小学校を対象とした交通安全教室や自転車マナーの向上を目指した街頭キャンペーンなどを実施している。

また現在市の全中学校区において安全マップを作成中。

取り組み前と比べ、**自転車事故の件数は、9.7%減少**しているが、交差点での事故の割合は増加している。



交差点は左右の確認をしましょう！

高齢者の安全対策委員会

高齢者の転倒予防として、運動機能向上を目的とした教室の実施や、パンフレットの配布を行っている。虐待防止に対しては、見守り活動の実施や、認知症サポーター養成講座を実施している。

平成26年4月現在で、**認知症サポーターは約2000人**にのぼるが、まだ十分ではない。



11月3日(祝)、16日(日)の認知症サポーター養成講座を受講してみませんか？(広報まつばら9月号参照)

子どもの安全対策委員会

リーフレット「あんあん」を発行するなど、自宅内でのけがの防止や学校内でのけがの防止に取り組んでいる。また、子育てをサポートするための子育て支援講座なども行っている。

校内安全マップを作成した小学校では、取り組み前と比べ、**けがが28.5%減少**している。

自宅でも危険な場所がないか、チェックしてみてください。

犯罪の防止対策委員会

防犯カメラの設置の推進やセンサーライトの設置を行っている。また、夜間に自宅の外灯などを点灯し犯罪発生を抑制する「一戸一灯運動」の推進を図っている。取り組み前と比べ、**刑法犯認知件数は、7.2%減少**している。



夜間はできる範囲で自宅の外灯を点灯し、犯罪の起こりにくい環境をつくりましょう！

災害時の安全対策委員会

災害時の家具転倒防止の対策として、勉強会や出前講座を行い周知を図っている。また、地域防災ネットワークプロジェクト訓練を実施し、地域ぐるみでの防災意識の向上を目指している。

平成25年度の地域の防災訓練参加人数は、**平成23年度の4.6倍の5500人**であった。



災害時に備え、ご家庭での水や食料の備蓄をお願いします。

自殺予防対策委員会

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応ができる、ゲートキーパーの養成講座を実施している。また、専門相談機関の拡充や周知のためにパンフレットを作成し、配布を行っている。

平成26年7月現在のゲートキーパー養成講座の受講者数は、**800人以上**にのぼる。



あなたもゲートキーパーになりませんか？

